

NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション(GLEA)のメールマガジン第153号をお届けします。ご意見・ご感想は<glea@npo-glea.org>まで。

◆今号の内容

1. トピックス
2. 最新の活動情報
3. これからの活動情報
4. コラム『好きこそものの上手なれ』同志社大学教授 高杉 直 会員

1. トピックス

◆交渉ワークショップが開催されました
詳しくは<2.最新の活動情報>をご覧ください。

◆只今、弊社ウェブサイト改修中につき、ページが表示されない場合がございます。
皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

2. 最新の活動情報

◆交渉ワークショップ
「Visionary World Cup 2022 in Awaji」が開催されました。

株式会社パソナグループとの共催で、8月22日～23日(1泊2日)淡路島(望楼 青海波)にて、交渉合宿が行われ、6大学16名の学生参加がありました。

受講者アンケートでは、「とても参考になった」(73%)「参考になった」(20%)との回答があり、「他大学の方と交渉の検討をする機会は減多になく、大変貴重な経験になった」「野村教授やパソナ南部代表の講義を拝聴し、ビジョンやビジョナリー交渉術についての見識を深めることができた」等、多くの感想が寄せられ、盛会のうちに終える事ができました。

3. これからの活動情報

◆交渉コンペティション オンライン・プレ・ミーティング
(参加者向け事前説明会)
日 時:9月18日(日)
場 所:オンライン会議

◆第21回大学対抗交渉コンペティション
日 時:11月19日(土)・20日(日)
場 所:上智大学及びオンライン会議

4. 今月のリーダーシップ情報【コラム／column】

同志社大学法学部 教授
高杉 直 会員(当法人副理事長)

『好きこそものの上手なれ』

「先生、○○についてはどうすればいいですか？」と学生から聞かれた場合に、私は、「あなたは、どうすればいいと思いますか？」と答えるように努めている。「△△とは何ですか？」と尋ねられれば、「何でしょうね。自分で調べてきて教えていただけますか？」とお願いしている。

今の時代、「Wikipedia」、「Siri」、「Google先生」や「アレクサ」に聞けば、彼らは、ほぼ何でもすぐに答えを教えてくれる。非常に便利な社会になったものである。

しかし、答えを教えてもらい、それを鵜呑みにしていいのだろうか。

大学教員としては、疑問に思ったことについて、まずは(できれば複数の)仮説をたてた上で、さまざまな情報源にあたって調べてみて、最終的に、自分なりの解答を導き出すという作業を行うことを学生に期待している。主体的に「考える」こと自体が楽しいことであり、また、人生において今後直面する諸問題に対する適切な「解」を導くためのトレーニングになるのではないかと思っている。

逆に、教員の私としては、学生に対して知識の伝達だけでなく、学生が知的好奇心を抱く「きっかけ」を提供できればと、できる限りさまざまな種類のボールを投げかけるようにしている。学生が自分にとって気になるボールを見つけてくれれば大成功である。

社会に出て、チームで仕事をする際にも、同じことが当てはまるのではないかと思う。チーム責任者から与えられた仕事を、嫌々していても面白くないだろう。折角、仕事をするのであれば、その中に何か自分なりの課題を見つけて主体的に取り組んだ方が、楽しく仕事もできるであろうし、仕事の成果もでるはずである。

ところで、「あなたは研究者をしているが、研究が好きなのですか？」と聞かれると困るかもしれない。「どう思いますか？」と答えたいところであるが、実は、私自身も、無理に、「研究は面白い！」と自己洗脳をしているのかもしれない。

情報募集中

メールマガジン「グローバルリーダーシップ通信」で、
会員の皆様に発信されたい内容や活動等がございましたら、
毎月20日頃迄に事務局までご連絡下さい。

本メールマガジンについて

配信先ご変更や配信ご不要の場合は、件名に「配信先変更」又は
「配信不要」と明記してglea@npo-glea.org迄ご連絡下さい。

=====
発行元：NPO法人グローバルリーダーシップ・アソシエーション
発行責任者：野村 美明
編集者：事務局 神谷 留奈
(TEL)070-6560-2633
(FAX)06-6853-3081
(E-mail)glea@npo-glea.org